タウン タウン 小麦

特定非営利活動法人
発　行　くまがや小麦の会
発行責任者　日向美津江
ホームページアドレス
http://www.kumagayakomuginokai.jp/
くまがや小麦の会　検索

NPO 法人 くまがや小麦の会 since 2006
事務局　〒360-0801　埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL. 048-521-7801

Interview シリーズ No. 16

ひと彩々

日本考古学の父 ―モースの顕彰

日本考古学の父E・S・モース
銅像の制作者

岡安 眞也（おかやす しんや）さん（76歳）

昭和15年(1940)、熊谷市鎌倉町の星河山石上寺に生まれる。熊谷西小・荒川中・埼玉県立熊谷高等学校卒業。群馬大学工学部応用化学専攻卒業後、日立金属(株)に入社。米国ＧＥ社への技術取得派遣、北米や中国での技術指導担当などを経て、日立金属(株)技師長、台湾日立金属社長を歴任。退職後は、裁判所参与員などの他、埼玉県美術家協会会員(彫刻)として精力的に活動している。また、専門分野の電子材料の技術者として、早稲田大学などに出講し、後進の育成にも務めている。

モースの顕彰

２０１５年12月、東京の「大森貝塚」を発見したことで知られる米国の動物学者エドワード・シルベスター・モース（１８３８～１９２５）の没後90年を記念し、熊谷市鎌倉町の石上寺に銅像が建立された。銅像の制作者である岡安眞也さんにお話を聞いた。

モースと石上寺

１８７９年(明治12年)８月13日、埼玉県の熊谷の石上寺にあった学舎「熊谷乙中教院」で、モースを招いての講演会が開かれた。モースは通訳の宮岡恒次郎らを通じて、持論の進化論について解説を進めたが、発起人の一人が、「人間の始めが猿という彼は不都合な人物である」として退席した逸話が残されている。(林有章「熊谷最初の講演会と外人の講演」『埼玉史談』)。このことは考古学及び動物学の先進的な学問に対して、当時の日本人の反応が分かる興味深い出来事であった。

モース像の制作・建立

モース像は、石上寺の岡安隆哲住職の兄で、県美術家協会員の岡安真也さんが準備から約３年がかりで完成させた。退職後の時間を活かして彫刻の創作を始めた岡安さんは、石上寺の歴史の中で特筆すべきモースの講演会について再認識を深めながら、その創作目的がモース銅像の制作へと向かうようになった。モースの肖像画の収集、完形に向けての習作、銅像原型の制作、そしてヨーロッパに足を運び技法調査を行うなど、最終的な銅像製作までの道は容易では無かった。「鋳造の発注先を探すことにも多くの苦労を要した」という話も印象的だった。

像の高さは95センチ、幅は80センチ、台座を含めた高さは１８７・９センチでモースが石上寺で講演した年（１８７９年）に由来している。銅像の裏には進化論の象徴である猿が小さく彫られている。岡安さんは、「石上寺でモースが進化論について講演した歴史的な出来事を広く、そして将来に向けて発信できたら」と意気込む。

銅像の除幕式はモースの90周年忌である２０１５年12月20日に開催。多くの人々が駆け付けた。モースの母国であるアメリカ大使館からはキャロライン・ケネディ大使の名代としてアメリカ大使館・副領事夫妻らの出席もあり、盛大な記念式典となった。

製作された銅像は、明治時代に熊谷の地でモースが語り掛けた声を現代に伝える記念碑として大きな存在感を放っている。

モースと熊谷

大森貝塚の発見で著名なエドワード・シルベスター・モースは、明治 12年と明治 15年の２回、好古家の根岸武香に面会するために大里の青山を訪れている。根岸家が所蔵する土器などをモチーフに、モース自身が描いた絵画などの関連資料は、根岸家とモースの関係を示すと共に、近代日本における学術的交流が熊谷の地でなされたことを明らかにする貴重な歴史資料として評価できる。これら熊谷の歴史や文化財との関わりを知ることで、モースが熊谷の残した足跡を感じることができる。(Y)

銅像の後ろ側に彫られた「猿」

石上寺での除幕式の様子

除幕式にご参列の皆様に、石上寺より配布されたお守りが485 個に達した。

通訳をした14歳の少年はどんな人物なのだろう？

川越一番街の刃物商「町勘」

モース博士が明治12年8月13日、石上寺講堂でダーウインの「進化論」を講演した時の通訳をした少年がいた。

p2へ

麦笛

「かものはしプロジェクト」

日向美津江

◆少々重い課題になるが、認定ＮＰＯ法人「かものはしプロジェクト」の取り組まれている課題をご存知でしょうか？児童買春問題という問題を解決する事とされている。この会の共同代表の村田早耶香さんは私の歳の半分にも達していない。大学の２年の時、東南アジアのＮＧＯを訪問するツアーに参加し、現地で一人の少女の事を知った。少女の家は貧しく、村には産業がなく食べる事が出来ない。そこへ「都会に良い仕事がある」と男がやって来て、少女は家族の為、都会へ行くことを決め、親は三万円を受け取った。ところが連れて行かれた先は売春宿だった。少女はエイズにかかってしまい、村に戻った。トラウマと村人の差別の中「学校へ行って勉強したかった」の言葉を残して亡くなった。

◆日本に戻ってから村田さんは貧困の為、親が子供を売春宿へ売ってしまう現状に対して「あの子たちを守りたい」『同じ自分の一生なら児童買春という問題の解決に使いたい』と。自分一人でも出来ることを始めようと決意し、２００２年任意団体「かものはしプロジェクト」を立ち上げた。村田さんにお会いした時、決意を持つオーラを感じた。

◆村田さんは東南アジアの児童買春の問題を周りの多くの人に知ってもらう活動を始めた。知ってしまった以上、放っておけない。」と話された。大学のゼミ、文化祭、話せる機会を求めた。周りの人はこの問題を知らないだけで、話せば感心を持ってくれる。児童買春問題の世界会議でも発言の機会を得た。しかし変わらない。問題解決方法を模索していた時、起業を夢見ていた東京大学の学生二人が「話を聞きたい」と尋ねて来た。議論を重ねタイやカンボジアで調査を実施して、事業戦略を作っていった。

◆カンボジア進出を決め、カンボジアの子供を対象にＰＣ教室を備えた「かものはしカンボジア事務所」をプノンペンに開設した。３年後の２００６年児童買春の起こる原因を現地で調査した結果、貧しい農村出身の子供が多く、出稼ぎに出された場所で被害にあうケースが多い事が判った。かものはしはアンコールワットで有名なシェムリアップの農村に移り、貧困家庭の子供とその家族に職業訓練を行うコミュニティーファクトリーの設立を行った。村人達は出稼ぎの危険性を深刻に受け止めていたので、かものはしへの期待は大きかった。い草を使った工芸品を作り、市場を日本、カンボジアに求め、利益を上げ出稼ぎを無くした。将来はカンボジア人にファクトリーの運営を任せたい。と語られた。任意団体設立から12年が経っていた。

◆一人の思いを現実する為に、認定ＮＰＯ法人の活動は、現場を熟知し小回りが利くため、官が行うより活動し易い事象がある。認定ＮＰＯ法人に与えられる寄付金の税制控除の活用が、パブリックサポートとして民間に活動の場を広げている。

小麦の会 活動報告

10/25(日) 第9回こうなん祭り
熊谷市江南文化会館ビビア駐車場

江南地区の皆様の温かさ溢れるイベントで、風がとても強い日でしたが、多くのお客様がご来場くださいました。おかげさまでBBBレーズン食パンはすぐ完売です。こうなん祭りお馴染みの山車や獅子舞が披露され、サンバチームがパワーアップして、会場を盛り上げていました。(R)

10/26(日) 奈良フェスタ　熊谷市立奈良小学校

小麦の会の事務局所所在地区の催事です。地元の「おやじの会」が主催してくれています。ステージが設定され、ライブが繰り広げられます。若者のバンド、フラダンス、地元のスター歌手子供たちのコーラスと繰り広げられます。今年は強風に煽られ焼きそばに被害が出ましたが、皆さんに熊谷産小麦の製品をたくさん買って頂きました。

11/1(日) 第2回熊谷市県立高校スイーツ文化祭　八木橋1階

昨年第1回が「熊谷の力」の助成金を頂き開催され、今年も8校の県立高校全校参加した。学生さんは朝早くから販売ブースの設営、母校のオリジナル製品を陳列する。恵比寿祭りのオドーレ直実が、17号国道を歩行者天国にして繰り広げられる日に当たる。八木橋開店10時を皮切りに、学生さんの売り声が響く。先輩が母校のブースに立ち寄り後輩にエールを送り、オリジナル製品をご購入下さっていた。県立高校8校が全校参加する行事はこのスイーツ文化祭だけと聞く。熊谷高校120周年にもスイーツ文化祭で開発された"くぬぎサブレ"が配布された。恒例行事として大切に育ててゆきたい。(T.M)

11/3(火) 舞台「焼け跡から」　熊谷市立文化センター文化会館

戦後70年の節目の年にここ熊谷で、戦災孤児と復員兵の生きていくためのストーリーを舞台にした「焼け跡から」が上演されました。主人公のフーちゃんのお顔が焼印されている「フーちゃんパン」は、可愛さと美味しさで即完売してしまいました。(Y.K)

11/21(土)22(日) 第11回熊谷市産業祭　熊谷スポーツ文化公園

東農大応援団の学生の皆様と大根踊りの後の記念撮影

毎年好天に恵まれ、2日間共、多勢の人出がありました。

熊谷ドームの屋根も前回はボロボロのままでしたが、大分修理が進んでいました。今回は人出が多い割には出店数も多かった為か、売上は前回より下がってしまいました。パウンドケーキ、くまサブレ、手作りパンなどは、皆さんに充分認知していただき、地粉も他のお店より安いので、2日続けて買いに来てくれた方もいました。今回、初めて地粉のすいとんを作ってみました。寒い日には湯気が立つ温かいものが喜ばれますが、火を使う許可を取っていなかったので、保温ジャーに入れるなど試行錯誤をしながら販売しました。その甲斐もあり2日目は完売しましたが、次回すいとんを売る場合は、現場で作ることを考えたいです。(I)

11/28(土) 熊谷商業高校販売実習　熊谷駅コンコース

熊谷商業高校、JR熊谷駅改札前での販売実習では、たくさんのお買上げをいただきました。

春秋年２回の開催が定着しました。今回もたくさんの卒業生から暖かい声をかけていただき、生徒たちの励みとなり、また、貴重な体験となったことでしょう。ご協力ありがとうございました。(T.M)

12/20(日) ベアリス30km in立正大
立正大学熊谷キャンパス

第7回大会が870名の参加で開催されました。「笑顔で走るあなたが主役です」が今大会のスローガン。

「小麦の会」の出店は、今回が3回目。昨年と同様、会の売店は食堂の入り口に設営されました。開店早々から「ここのシュトレンを買う為にこのマラソン大会に参加しました。おいしくて、安くて、品質もいいので他では買えません」というある参加者のお言葉に励まされました。熊谷小麦「さとのそら」を使ったサブレやクッキーなども好評で、多くの皆様に購入していただきました。(K)

1/1(木) 久保島神社のお供物にくまサブレ　久保島神社

今年は、とても穏やかで温かな初詣でした。久保島大神社の初詣には、「くまがや小麦の会」の「くまサブレ」を供物として採用し、今年で5年目になりました。毎年700人余りの参拝者全員に配布し喜ばれております。久保島地区には、多くのファンがおりますが、特に子供さん達には大好評です。

その他、参拝者全員の皆様に、「絵馬」「甘酒」「福引き」などのお楽しみ無料プレゼントがあります。甘酒は、私が当神社の総代になった平成16年頃から行われています。

当神社では、日本の伝統文化を守ることに努めておりますが、その他大切にしていることがあります。地域の産物である熊谷産の小麦を原料として造った「くまサブレ」を普及推進し、地域の活性化を図って行くことです。(M)

2/10(水) スイートポテト地粉タルト講習会
平松研究室

講師に森田松子先生をお招きして、地粉タルトの講習会が開催されました。タルトとスイートポテトは絶妙な相性で、美味しく出来上がりました。試食会では、参加者持参の煮物、漬物、おせんべいと、賑やかな笑い声が続きました。(H)

あの町この店

パンと、惣菜と、珈琲と。
PUBLIC BAKERY
国産小麦専門店
熊谷市宮町 2-131
電話　048-501-7330

レトロな建物の中におしゃれな空間が

熊谷市役所通りに昨年11月オープン以来、熊谷っ子の話題をさらっているお店です。「食パンがふわふわで美味しいのよ」「ランチボックスがあるんだって」「イートイン出来るんだって」等々。元々は、安心安全を提供する為『パブリックダイナー』など自社内の店舗のパンをすべて自家製パンにする為にオープンした店です。

パンにかけるこだわりは素晴らしいものがあります。小麦は国産小麦、水は「交流電解還元式」機械によってつくられる「活性水素「医王石」「白金ナノコロイド」をふんだんに含んだ分子の細かい水。その水は小麦にスーッと混ざり、粉の風味を損なわないのだそうです。建物を借りてから、すぐにはオープンせず、10ヵ月以上かけて研究に研究を重ねて作り上げたパンです。食パンは焼くと表面はカリッ、かじると中からフワーッと水蒸気が溢れ熱々でしっとり、味わい深いパンです。リピーターが多いのも頷けます。フランスパンには熊谷産の小麦も使用し、フランスパンらしからず、中はもっちり、しっとり柔らかい食感です。手間暇かけた惣菜と合いそうです。珈琲もこだわりのブレンドです。苦味も酸味も強くなく、フルーティーで、珈琲好きにも珈琲の苦手な方にも好んでもらえる珈琲です。

「イートグッド」(安心安全、心と体に良い食品)「イートローカル」(地産地消)の姿勢で、常に良い原料でクオリティーの高い食品を手ごろな値段で提供していこうとされています。街の活性化にも一役買いたいと星川通り、市役所通り、中央公園をジョギングエリアに出来たらなど夢を語られるオーナー。手始めにランチボックスを持って、中央公園でランチなどいかがでしょうか？花見の時にもランチボックスは活躍しそうですね。是非予約を！お勧めです。(O・Y)

ピクニックにもお花見にも活躍しそうなランチボックス

国産小麦100%こだわりの食パン

店員さんがいつも笑顔で迎えてくれます

日本人のためのフランスパン

イベント出店予定

3月
- 20日(日)　第26回 熊谷さくらマラソン大会　熊谷さくら運動公園陸上競技場
- 21日(月)　くまがや小麦の会バスツアー　シルク・ドュ・ソレイユ「トーテム」
- 30日(水)～4月7日(木)　第17回 全国高等学校ラグビーフットボール選抜大会　熊谷スポーツ文化公園ラグビー場

4月
- 30日(土)　第10回 友山まつり 根岸家長屋門

5月
- 22日(日)　第5回 かごはら元気まつり 籠原駅南口
- 28日(土)　NPO法人くまがや小麦の会 第10回 定例総会 筍亭
- 29日(日)　第6回 熊谷B級グルメ大会 熊谷スポーツ文化公園

6月
- 4日(土)　第8回 こうなんホタル祭り　江南総合文化会館ビビア駐車場

■ 会員募集
賛助会員年会費 10,000円　一般会員年会費 一口1,000円
お申込み:TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900

次号のお届けは2016年6月の予定です。
編集室　TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900